

看護学生と薬学生の夏のハンガリー研修を終えて

薬学部 医療薬学科 2年 R.S

2022年8月16日から34日間、ハンガリーのセンメルヴェイス大学へ救急医療を学びに看護学生と共にブダペスト研修に参加しました。私は臨床現場で活躍できる薬剤師を目指しており、救急医療について興味を持っていました。そのためこの研修に参加することで座学では知ることのできない、実際の臨床現場をみて、将来チーム医療の一員として深くかかわることができるようになると思いました。

肺や心臓、腹部や外傷の緊急時の症状と対処法についてだけでなく、CPRやPoCT等救急医療の知識を身につけることができました。また、ICUやER、手術室に入りインフューザーポンプや人口透析、気管支チューブ等の器具やX線やエコーがどのように使用されているかを知ることができました。薬学としては学ぶことができないバイタルサインや器具の使用法について学ぶことができ、貴重な経験をすることができました。特に参加してよかったと思ったことは、授業で習った医薬品が実際に使われているところを見たことです。紙面上でなく今も誰かのために使用されていることを実感しました。

建国記念日のお祭りや式典に参加したり、ブダペスト中を散策したことで、ハンガリーの歴史や文化にも触れたり現地の学生とも交流ができ、新たな視点を獲得することができました。特に驚いたのはハンガリーの喫煙者の割合は日本よりも多く、町中でも吸っている人がたくさん見られたことです。実際、喘息やCOPDの人が多いらしく日本との違いを強く感じました。また、ブダペスト以外にもセンテンドレやウィーンにも行くことができ、国内や同じヨーロッパでも雰囲気は全く異なっており、もっといろいろな国へ行き、文化や医療についてもっと学びたいと思うようになりました。

救急医療の知識だけでなく、英語という誰とでも会話できる言語を習得すること、そして、我々は常に固定概念に縛られて物事を見ていることを理解する重要性を学び、常に根拠に基づいた医療を行えるように新しい知識をアップグレードしていく必要があることを学びました。言語や専門用語の壁にあたり苦しいこともありましたが、充実した34日間でした。この経験を生かしてより一層勉学に勤しみたいと思います。

【略語】

CPR : cardiopulmonary resuscitation 心肺蘇生法

PoCT : point of care testing ポイントオブケア検査

ICU : intensive care unit 集中治療室

ER: emergency room 緊急治療室

COPD: chronic obstructive pulmonary disease 慢性閉塞性肺疾患



写真 1. 国会議事堂



写真 2. ブダペスト研修 修了証書



写真 3. センメルヴェイス大学ロビー



写真 4. 気管支挿管の練習（実際行っているところですよ）



写真 5. センメルヴェイス大学病院での講義